

## 普及促進事業に参加して 3年目の取り組み

### 技術を習得することを目標に

社会福祉法人 飯塚市社会福祉協議会  
特別養護老人ホーム 筑穂桜の園  
(ちくほさくらのその)

#### 前年度 課題

- ①ビデオ視聴による自己学習に加え、実際に実技指導するが、その時は上手くできていても、実際にご利用者の介助時は自己流が出ており、統一されていない
- ②座りなおし等がうまくできず苦戦している つい抱えてしまっている
- ③新人指導では、事前学習なしに、実際のご利用者で直接体験していた
- ④指導中に腰の捻り方を間違ったことで腰痛の引き金となった

#### 今年度 進めてきたこと

- ①実技指導者が育っていないため、今年度1名の職員が、**技術研修見学学習者**として学ぶことになった
- ②座りなおし以外も再度ビデオ学習とノーリフ委員会実技指導を行っていった
- ③今年度2名の若い新人(18歳・20歳)が入職・マンマーからも2名の留学生を迎えた・ビデオ視聴や技術研修を行うなど事前学習後にご利用者への直接指導を行い、新人職員2名はスタンディングリフトやボード等は使いこなせるようになった(留学生については直接介護はまだ行っていない)
- ④技術指導は行ったが基本姿勢が十分ではないため、ラウンドを行いながら現在指導中である

2005年5月1日に筑豊地域では初めての小規模ユニット型施設として開設。開設当初から、浴室には天井走行型リフトと据置式リフトが設置されており、抱え上げない介護はこの時から始まる。

2021年 : 独自で「ノーリフティングケア委員会」を立ち上げる  
・動画配信 内部研修 事例検討 就業前体操  
・福祉用具を積極的に使用

2023年 : 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業へ参加(4期生)

入居者 : 30名 ショートステイ : 3名  
平均要介護度 : 4.0  
職員数 : 常勤 22名(内介護職16名) 非常勤 9名(内介護職5名)  
(1名育児休暇) 留学生 2名

#### 令和7年度 委員会の発足

環境面(福祉用具購入・修理、勤務調整等)を整えて頂いたりと裏方で大きな力となってもらいました

実戦部隊として実技指導しました



# 個別対応マニュアル

ノーリフティングケアを行っているご入居者様は、24時間シートを活用し、4月1日付で個別対応マニュアルを作成しました  
マニュアルはその都度変更されます



生活リズム	意向・好み	自分でできること	サポートが必要なこと	留意	備考
スに寝る	足元は配れないので車椅子に足元を配る	手足を移さないように身を縮めることができる	※必ず2名介助にて移行実施すること。1名が身体を右側臥位にする。もう1方はフレックスボード（黒）を身体の下に敷き込む。身体半分がフレックスボードに乗ったことを確認したら、リクライニング式車椅子をベット左側へフラットにして配置する。頭側と足元側に分かれて同時に呼吸を合わせてスライド移動し、車椅子方向に身体を滑らせていく。身体全体が車椅子へ移行したことを確認したら、敷き込んでいたフレックスボードを垂直方向に引き上げるようにして抜き取り、車椅子のレッグレストを上げる。	介助者は腕の力で動かさない様に注意。必ず腰を落とし、重心移動で身体全体を使い移動すること。	転倒・窒息、自動スプーンが落ちた際には、手介助にならないよう注意。声を掛けながら食事介助に
サポートが必要なこと					転倒・窒息、自動スプーンが落ちた際には、手介助にならないよう注意。声を掛けながら食事介助に
					介護者は腕の力で動かさない様に注意。必ず腰を落とし、重心移動で身体全体を使い移動すること。



# 技術研修 見学学習に参加

6期生対象技術研修（4回）の時に技術指導  
見学学習として参加させていただきました



# 職員への技術指導



# 新人職員・留学生への指導



## 看護学校 実習生

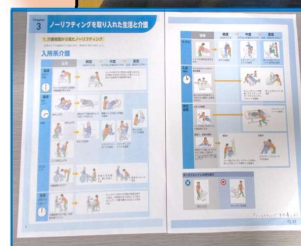


次の時代を担ってもらう看護実習生の真剣さに私たちも身が引き締まる思いでした



## ご家族への説明

家族懇談会でノーリフティングケアに取り組んでいることを報告しました



2025年11月12日

## 筑豊地域ノーリフティングケアフォーラムへの参加

フォーラムに参加し、今回フレックスボードの実演をおこなった。まだまだ不慣れだったが、先輩施設の方々と普及活動へ参加できたことは大きな前進でした。温かく見守ってくれた先輩方に感謝です。



フレックスボード実演



## まとめ

- 今年度は技術指導者育成に取り組むことを第一の目標にしていた。見学学習で学ばせていただいたことで受講者本人も自信がついてきた
- 職員への指導も積極的に行えるようになった
- 筑豊地域ノーリフティングケアフォーラムで先輩施設の方々と微力ながらも普及活動に参加できたことは一歩前進となった
- 家族懇談会でご家族の皆様へノーリフティングケアについて説明でき、ご理解いただくことができた

